



浦 企 企 第3号

平成19年4月24日

国土交通省 道路局長 様

北海道浦河町長 谷川 弘一郎



道路特定財源の見直しに関する具体策の中期的な計画

作成にあたっての意見について

このことについて、別紙のとおり意見書を提出しますのでよろしく
お願い申し上げます。

「道路特定財源の見直しに関する具体策の中期的な
計画作成にあたっての意見について」

(市町村名 浦河町)

項 目	意 見
<p>重点化を進める上で優先度の高い政策</p>	<p>道路政策の重点化を進めるにあたって、特に地域が抱えている課題を解決する道路施策を優先的に取り組んで頂きたい。</p> <p>①高速道路ネットワークの構築</p> <p>当町を含む日高管内は、北海道の背骨といわれる日高山脈に沿って、軽種馬生産と漁業を主産業に発展してきました。</p> <p>しかし、地方にとって都市への移動や流通が重要になっている中で、当地方には主要幹線道路が国道1本しかなく、大雨や地震等の災害により通行止めが多発する等、地域の経済活動、住民生活及び観光等に大きな影響を及ぼしております。</p> <p>また、地方の共通の課題である医療問題では、心臓疾病等における高度医療等については、札幌市や苫小牧市に依存せざるを得ない状況となっています。</p> <p>つきましては、日高管内（7町）では地域の最重要課題として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽種馬（ストレス解消、体調維持）や漁業（生鮮魚）の輸送時間の短縮と輸送コストの縮減 ・大雨や地震等の自然災害による通行止めが多発する中での代替路 ・脳卒中や心筋梗塞等の高度医療施設への緊急患者の搬送時間の短縮 <p>等の解決を図るため、高速道路ネットワークの構築（高規格幹線道路「日高自動車道」）を優先度の高い政策に取り上げていただき、あわせて早期の構築（完成）を望みます。</p> <p>②幹線道路及び生活道路における安全・安心の確保</p> <p>浦河町内の国道等の幹線道路において、歩道の狭隘や未整備等から交通事故に繋がる事態も多く発生しており、今後高齢者が増加する中で歩道の整備等の交通安全対策による安全で安心した歩行空間の確保が不可欠と考えます。</p> <p>また、町道などの生活道路においても、学童が安全で安心し</p>

	<p>て通学可能な歩行空間の確保が重要な課題として考えています。</p> <p>このことから、歩道整備等による交通事故対策による安全で安心した道路整備を優先度の高い政策としていただきたい。 (国道235号浦河町内、道道荻伏停車場線など)</p> <p>③道路施設等の適切な維持管理及び災害に強い道路</p> <p>日常的な維持修繕（路面管理、除雪など）及び道路施設の老朽化に伴う費用は、今後とも増大することが想定されることから、適切かつ計画的な管理手法が重要と考えます。</p> <p>特に当町は、過去に大きな地震による被害を受けていることから、橋梁等の補強や改修を行い地震時における避難路の確保など災害に強い道路が重要と考えます。</p>
<p>効率化を進める上で重視すべき事項</p>	<p>効率化を進める中で、コスト縮減への取組みは不可欠であるが、事業化に当ってはスピード感を持って集中的に対応することが望まれますので、今まで以上に供用あるいは完成年次を明確にしながら取り組むべきであると考えます。</p> <p>また、効率的に事業を進めるためには、国、北海道及び自治体との連携強化及び明確な役割分担が不可欠であり、さらには地域住民との連携・協働を図ることも重要と考えます。</p>
<p>道路施策や道路整備・管理全般について</p>	<p>北海道は面積が広いとため、高規格幹線道路等は本州より整備が遅れていますが、地方の活性化や自立に必要な基幹道路の整備には、必要となる事業の財源を安定的に確保することが重要です。</p> <p>また、今後の道路整備や管理は、地域住民との一層の連携が重要となりますので、対話の機会を増やし地域住民のニーズの把握に努めていただきたい。</p>